

DRUG

INFORMATION

2006 No. 6

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

平成18年3月3日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 －平成 18 年 3 月 2 日薬事委員会結果報告－
- 2 . 新規院内処方医薬品添付文書情報 3

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について

－平成18年3月2日薬事委員会結果報告－

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイピーデイドライシロップ(トシル酸スプラタスト)	50mg/g	アレルギー性疾患治療剤	大鵬
アベロックス錠(塩酸モキシフロキサシン)	400mg/錠	ニューキノロン系経口抗菌剤	塩野義
セイブル錠(ミグリトール)	50mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	三和化学
ヘプセラ錠(アデホビルピボキシル)	10mg/錠	抗ウイルス化学療法剤	GSK
膀胱用イムシスト(乾燥 BCG)	81mg/V	抗悪性腫瘍剤	日本化薬
ボルタレンテープ(ジクロフェナクナトリウム)	7×10cm/枚	経皮鎮痛消炎剤	ノバルティス
オキサロール注(マキサカルシトール)	5μg/1mL/A	二次性副甲状腺機能亢進症治療剤	中外
キサンボン S 注射液(オザグレルナトリウム)	40mg/5mL/本	トロンボキサン合成酵素阻害剤	キッセイ
サムセット	配合剤	アシドーシス治療剤	大塚

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
サラジェン錠(塩酸ピロカルピン)	5mg/錠	口腔乾燥症状改善薬	キッセイ
ジプレキサザイデイス錠(オランザピン)	5mg/錠	抗精神病薬	イーライリリー
イムノブラダー膀胱用(乾燥 BCG)	40mg/V	抗悪性腫瘍剤	日本 BCG
ルリコンクリーム(ルリコナゾール)	{1%} 10g/本	抗真菌剤	科薬
アクブラ静注用(ネダプラチン)	10mg/V	抗悪性腫瘍剤	塩野義
イオバミロン 370 シリンジ(イオバミドール)	100mL/筒	非イオン性造影剤	シエーリング
エルブラット注射用(オキサリプラチン)	100mg/V	抗悪性腫瘍剤	ヤクルト
大塚糖液(ブドウ糖)	{5%} 250mL/袋	糖質輸液用製剤	大塚
スパニジン注(塩酸グスペリムス)	100mg/V	免疫抑制剤	日本化薬
ハーセプチン注射用(トラスツズマブ)	150mg/V	抗悪性腫瘍剤	中外
フィニバック点滴用(ドリペネム水和物)	0.25g/V	カルバペネム系抗生物質製剤	塩野義
マグネピストシリンジ(ガドペンテト酸メグルミン)	5mL/筒	MRI 用造影剤	シエーリング

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
MDS コーワ錠(デキストラン硫酸ナトリウム)	300mg/錠	高トリグリセリド血症治療剤	興和
ゼストリル錠(リシノプリル)	10mg/錠	持続型 ACE 阻害剤	アストラゼネカ
パナンドライシロップ(セフポドキシムプロキセチル)	50mg/g	セフェム系抗生物質製剤	三共
硫酸キニジン末(硫酸キニジン)	原末	不整脈治療剤	メルク・ホエイ
イムノブラダー膀胱用(乾燥 BCG)	80mg/V	抗悪性腫瘍剤	日本 BCG
フローセン(ハロタン)	250mL/本	吸入麻酔剤	武田
オプチレイ 320 シリンジ(イオベルソール)	100mL/筒	非イオン性造影剤	タイコ
キサンボン注射用(オザグレールナトリウム)	20mg/V	トロンボキサン合成酵素阻害剤	キッセイ
コスメゲン(アクチノマイシン D)	0.5mg/V	抗腫瘍性抗生物質	万有
硫酸ストレプトマイシン注射用(硫酸ストレプトマイシン)	1g/V	アミノグリコシド系抗生物質製剤	明治

※院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アベロックス錠(塩酸モキシフロキサシン)	400mg/錠	ニューキノロン系経口抗菌剤	塩野義
クラバモックス小児用ドライシロップ(合剤)	636.5mg/g	ペニシリン系抗生物質製剤	GSK
セイブル錠(ミグリトール)	50mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	三和化学
ゼリットカプセル(サニルブジン)	20mg/Cp	抗ウイルス化学療法剤	ブリストル
プロペシア錠(フィナステリド)	0.2mg、1mg/錠	男性型脱毛症用薬	万有
メニレットゼリー(イソソルビド)	{70%} 20g/個	経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤	三和化学
スミルスチック(フェルピナク)	{3%} 30g/本	経皮吸収型鎮痛・消炎剤	大正富山
リノコートパウダースプレー鼻用(プロピオン酸ベクロメタゾン)	1.5mg/本	粘膜付着型鼻過敏症治療剤	帝人ファーマ

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ラックビー(末) ラックビー微粒 N	10mg/g	整腸剤	日研化学

※粉末製剤の院内在庫がなくなり次第、処方変更とします。

新規院内処方医薬品添付文書情報

＊トシル酸スプラタスト Suplatast Tosilate

【商】アイピーディ IPD 大鵬

内用：ドライシロップ剤 1g 中 50mg [81.7 円/g]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】気管支喘息

【用】小児には 1 回 3mg/kg を 1 日 2 回朝及び夕食後に、用時溶解して投与する。1 日 300mg を超えないこと。3 歳以上 5 歳未満：1 回 37.5mg、5 歳以上 11 歳未満：1 回 75mg、11 歳以上：1 回 100mg

【副】黄疸、肝機能障害、ネフローゼ症候群
胃部不快感、嘔気、胃痛、下痢、口渇、食欲不振、口内炎、腹痛、嘔吐、腹部膨満感、舌のあれ、眠気、頭痛、痙攣、振戦、めまい、しびれ、白血球減少、好酸球増多、発疹、痒痒感、蕁麻疹、AST・ALT・ γ -GTP・LDH 上昇、ビリルビン・ALP 上昇、蛋白尿、頻尿、生理不順、倦怠感・脱力感、浮腫、耳鳴、眼瞼乾燥感、発熱、ほてり、鼻出血、味覚異常、口臭、動悸、咳、胸部圧迫感

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳中止

【低・新・乳】3 歳未満：未確立

＊塩酸モキシフロキサシン

Moxifloxacin Hydrochloride

【商】アベロックス Avelox 塩野義

内用：錠剤(丸) 1 錠中 400mg [544.4 円/錠]

【禁】本剤の成分又は他のキノロン系抗菌剤に対し過敏症の既往歴のある患者、重度の肝障害のある患者、QT 延長のある患者(先天性 QT 延長症候群等)、低カリウム血症のある患者、クラス A(キニジン、プロカインアミド等)又はクラス (アミオダロン、ソタロール等)の抗不整脈薬を投与中の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、小児等

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、副鼻腔炎

【用】1 回 400mg を 1 日 1 回投与する。

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、心

室性頻拍(Torsades de pointes を含む)、QT 延長、偽膜性大腸炎、腱炎、腱断裂、痙攣、錯乱、幻覚、失神、Stevens-Johnson 症候群、肝炎(主に胆汁うっ滞性)、黄疸、肝機能障害 横紋筋融解症、間質性肺炎、低血糖、Lyle 症候群、急性腎不全、過敏性血管炎 アレルギー反応、発疹、蕁麻疹、頭痛、浮動性めまい、錯感覚、睡眠障害、振戦、傾眠、不安、精神運動亢進、感覚鈍麻、異常な夢、協調運動障害、注意力障害、会話障害、健忘、情動不安定、うつ病、離人症、精神病性反応、知覚過敏、動悸、不整脈、心室性頻脈性不整脈、高血圧、低血圧、血管拡張、心停止、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、食欲不振、便秘、消化不良、鼓腸、胃腸炎、嚥下障害、ALT・AST 上昇、ビリルビン・ γ -GTP・ALP 上昇、脱水、腎機能障害、貧血、白血球・好中球・血小板減少、血小板・好酸球増加、APTT 延長、INR 増加、INR 減少、回転性眩暈、味覚障害、視覚障害、嗅覚障害、耳鳴、カンジダ症、発汗、痒痒、無力症、疼痛、アミラーゼ上昇、高脂血症、関節痛、筋痛、呼吸困難、高血糖、高尿酸血症、末梢性浮腫、筋痙攣、関節炎、歩行障害

【妊】未確立、禁忌

【授】回避、やむを得ない場合は授乳回避

【小*】未確立、禁忌

＊ミグリトール Miglitol

【商】セイブル Seibule 三和化学

内用：錠剤 1 錠中 50mg [57.6 円/錠]

【禁】重症ケトosis・糖尿病性昏睡又は前昏睡の患者、重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者、本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】2 型糖尿病の食後過血糖の改善(ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る)

【用】1 回 50mg を 1 日 3 回毎食直前に投与する。効果不十分な場合には、1 回量を 75mg まで増量することができる。

【副】低血糖 腸閉塞様症状、肝機能障害、劇症肝炎、意識障害を伴う高アンモニア血症 腹部膨満、鼓腸、下痢、軟便、便秘、腸雑音異常、腹痛、嘔気、嘔吐、食欲不振、口渇、消化不良、胃不快感、おくび、胃炎、排便障害、痔核、発疹、紅斑、蕁麻疹、痒痒、ALT・AST・γ-GTP・LDH 上昇、めまい、頭痛、白血球数減少、血中アミラーゼ・カリウム・尿酸増加、頻尿、咳嗽

【妊】未確立、禁忌

【授】回避、やむを得ない場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊アデホビルピボキシル Adefovir Pivoxil

【商】ヘプセラ Hepsera GSK

内用：錠剤(○) 1錠中 10mg [1,334 円/錠]

【警】本剤の投与終了後、ウイルス再増殖に伴い、肝機能の悪化もしくは肝炎の重症化が認められることがある。そのため、本剤の投与を終了する場合には、投与終了後少なくとも 4 ヶ月間は原則として 2 週間ごとに患者の臨床症状と臨床検査値(HBV-DNA、ALT 及び必要に応じ総ビリルビン)を観察し、その後も観察を続けること。特に、免疫応答の強い患者(黄疸の既往のある患者、重度の急性増悪の既往のある患者、等)あるいは非代償性肝疾患の患者(組織学的に進展し、肝予備能が少ない患者を含む)では、投与終了後に肝炎が重症化することがあり、投与終了後の経過観察をより慎重に行う必要がある。このような患者では本剤の投与終了が困難となり、長期にわたる治療が必要になる場合がある。

【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【効】ラミブジン投与中に B 型肝炎ウイルスの持続的な再増殖を伴う肝機能の異常が確認された以下の疾患におけるラミブジンとの併用によるウイルスマーカー及び肝機能の改善：B 型慢性肝炎及び B 型肝炎硬変

【用】本剤 1 回 10mg を 1 日 1 回投与し、ラミブジン 1 回 100mg を 1 日 1 回併用投与する。

【副】腎機能障害、腎不全、乳酸アシドーシス、脂肪沈着による肝腫大(脂肪肝) 腎機能障害、クレアチニン増加、悪心、腹痛、鼓腸、下痢、消化不良、頭痛、無力症

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】18 歳未満：未確立

【商】イムシスト Immucyst 日本化薬

外用(○) 1 瓶中生きたカルメット・ゲラン菌(BCG)・コンノート株 81mg [22,325.8 円/瓶]

【警】本剤は弱毒化した牛型結核菌生菌であり、感染の可能性がある。米国で実施された本剤の膀胱内投与による臨床試験で、播種性 BCG 感染による死亡例が報告されている。したがって、経尿道的腫瘍切除術(TUR-Bt)、生検、又はカテーテル挿入により外傷を生じた場合は回復状況を観察し、少なくとも 7 日から 14 日間の間隔をあけて投与すること。また、本剤の投与は緊急時に十分措置できる医療施設及び膀胱癌の治療に十分な経験を持つ医師のもと、本剤の投与が適切と判断される患者にのみ使用すること。海外市販後報告及び類薬でアナフィラキシーショック又はアナフィラキシー様症状に起因したと考えられる死亡例が報告されている。このような症状があらわれた場合は本剤の投与を中止し、直ちに抗ヒスタミン剤又はステロイド剤の投与とともに抗結核剤による治療を行うこと。本剤は生菌製剤であり、海外において、院内感染が報告されているため、十分注意し適切に取扱うこと。

【禁】AIDS・白血病・悪性リンパ腫等併発疾患又は抗癌療法(例えば細胞傷害性の抗悪性腫瘍剤、放射線療法)により免疫抑制状態にある患者、先天性又は後天性免疫不全の患者、HIV キャリア及び免疫抑制量のステロイド剤又は他の免疫抑制剤を投与している患者、活動性の結核症が明らかでない患者、原因が特定されていない熱性疾患・細菌性尿路感染症・肉眼的血尿のある患者、BCG 全身性過敏症反応の既往がある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】表在性膀胱癌、膀胱上皮内癌

【用】1 瓶(81mg)に添付溶解液 3mL を加え、10～20 回静かに振り混ぜ、細かく均一な懸濁液とする。これを生理食塩液 40mL で更に希釈し、再度静かに振り混ぜ、均一な BCG 希釈液を調製する。尿道カテーテルを膀胱に無菌条件下に挿入し、残尿を排出後に BCG 希釈液を緩徐に注入し、可能な限り 2 時間膀胱内に保持するよう努める。これを週 1 回 8 週間繰り返す。

【副】播種性 BCG 感染、間質性肺炎、全身性過敏症反応、萎縮膀胱、ライター症候群、異所性 BCG 感染、腎不全 頻尿、排尿痛、血尿、排尿

困難、尿中白血球・赤血球増加、潜血反応・尿蛋白陽性、残尿感、排尿不快感、尿道痛、混濁尿、切迫尿失禁、尿糖陽性、膀胱炎、膀胱タンポナーデ、食欲不振、下腹部痛、下痢、下腹部圧迫感、関節痛、筋肉痛、下肢浮腫、関節炎、低酸素血症、皮膚癢感、白血球増多、好酸球・単球増多、好中球減少・増多、リンパ球増多・減少、白血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット値・赤血球減少、ALT 上昇、 γ -GTP・AST・ALP・LDH 上昇、BUN・血中クレアチニン上昇、発熱、倦怠感、頭痛、悪寒、血清蛋白低下、熱感、発汗、精巣上体炎、前立腺炎

【妊】禁忌

【授】回避、やむを得ない場合は授乳中止

【小*】未確立

【貯】遮光、2～8℃

*ジクロフェナクナトリウム Diclofenac Sodium

【商】ボルトレンテープ Voltaren

ノバルティス

外用：貼付剤 1 枚(7×10cm)中 15mg

[27.6 円/枚]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等により誘発される喘息発作)又はその既往歴のある患者

【効】下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛(筋・筋膜性腰痛症等)、外傷後の腫脹・疼痛

【用】1 日 1 回患部に貼付する。

【副】皮膚炎、癢痒感、発赤、皮膚のあれ、刺激感、水疱、色素沈着、光線過敏症

【妊】未確立、有益のみ

【小*】未確立

【貯】遮光

*マキサカルシトール Maxacalcitol

【商】オキサロール Oxarol 中外

注射：液剤^㉔ 1 管(1mL)中 5 μ g [1,794 円/管]

【効】維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症

【用】透析終了直前に 1 回 2.5～10 μ g を週 3 回、透析回路静脈側に注入する。血清副甲状腺ホルモンの改善効果が得られない場合は、高カルシウム血症の発現等に注意しながら、1 回 20 μ g を

上限に慎重に漸増する。

【副】高カルシウム血症 癢痒感、脱毛、皮疹、いらいら感、興奮、焦燥感、不穏、不眠、食欲不振、胃不快感、下腹部異和感、AST・ALT 上昇、ALP・LDH 上昇、血清無機リン上昇、CK 上昇、尿酸上昇、総蛋白低下、ミオグロビン上昇、血中 Al 上昇、胸部 X 線異常、血圧上昇、白血球減少、白血球分画異常、頭痛、倦怠感

【妊・授】未確立、回避、やむを得ない場合は有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】10℃以下、遮光

*オザグレナトリウム Sodium Ozagrel

【商】キサボン S Xanbon S キッセイ

注射：液剤 1 管(5mL)中 40mg [3,050 円/管]

【禁】出血している患者(出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血又は原発性脳室内出血を合併している患者)、脳塞栓症の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 脳塞栓症のおそれのある患者(心房細動、心筋梗塞、心臓弁膜疾患、感染性心内膜炎及び瞬時完成型の神経症状を呈する患者)、重篤な意識障害を伴う大梗塞の患者

【効】①クモ膜下出血術後の脳血管攣縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善 ②脳血栓症(急性期)に伴う運動障害の改善

【用】①1 日 80mg を適当量の電解質液又は糖液で希釈し、24 時間かけて持続静注する。投与はクモ膜下出血術後早期に開始し、2 週間持続投与することが望ましい。②1 回 80mg を適当量の電解質液又は糖液で希釈し、2 時間かけて 1 日朝夕 2 回の持続静注を約 2 週間行う。

【副】出血性脳梗塞、硬膜外血腫、脳内出血、消化管出血、皮下出血、ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸、血小板減少、白血球・顆粒球減少、腎機能障害 発疹、喘息発作、上室性期外収縮、血圧下降、貧血、AST・ALT・LDH・ALP 上昇、ビリルビン上昇、BUN 上昇、クレアチニン上昇、嘔気、嘔吐、下痢、食欲不振、膨満感、発熱、頭痛、胸内苦悶感、注射部[発赤・腫脹・疼痛]、ほてり、悪寒・戦慄、関節炎、CRP 上昇

【妊】未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

【商】サムセット Tham Set 大塚

注射：液剤 サム 1 管(50mL)中トロメタモール 18.17g、塩化ナトリウム 0.875g、塩化カリウム 0.185g サム希釈液 注射用水(450mL) サム補正液 1 管(20mL)中氷酢酸 6.2g [833 円/管]

【禁】代謝性及び呼吸性アルカローシスのある患者、無尿・尿毒症等の腎機能障害のある患者

【効】代謝性アシドーシス(アシデミアを認めるとき)、体外循環・低体温による手術及び保存血大量注入によるアシドーシスの治療

【用】投与量の半量から投与を開始し、適宜追加補正することが望ましい。

投与量(mEq)＝不足塩基量(mEq/L)×0.3×体重(kg)
投与はなるべく太い静脈に直接又は静脈カテーテルを用いて 0.2mL/kg/分以下の速度で注射する。

【副】呼吸抑制、低血圧、低血糖、注射部位[血管痙攣・静脈炎、組織の炎症・壊死]、血清電解質減少、高カリウム血症

【妊】未確立、有益のみ

【新】注意